

## 10. 神の栄光のために生きる

### エペソ人への手紙 1 章 6 節

それは、神がその愛する方であって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

イングランド出身のヘンリー・マーティンは、1700 年代後半から 1800 年代初めにインドとペルシャで宣教師として働きました。彼はカルカッタに到着した時「神様のために私の人生のすべてのエネルギーを使いましょう！」と叫びました。そして彼は人々が偽りの偶像の神々にひれ伏す様子を見、キリストへの冒涇を聞きました。しかしマーティンは神様の栄光への強い情熱を持っていました。「私が感じた多くの恐怖と嫌悪感は説明することが出来ないが…、もしイエス様が栄光を受けず、このようにいつも侮辱を受けるならば、それは私にとって地獄だ。」と記しました。彼のようなクリスチャンが多くいて、そして天使も天も、動物さえも神様に栄光をささげています。

いと高きところに、栄光が、神にあるように。(ルカ 2:14) 天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。(詩篇 19:1) 野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。(イザヤ 43:20)

私たちクリスチャンは、神様の栄光のために造られました。非道德的な事から離れ、食べたり飲んだりする単純なことを通しても、神様に栄光をささげましょう。神様に栄光をささげることは、与えられた大きな恵み、贈り物、名誉であり、大きな責任です。他の人々が私たちの中にキリストの性質を見出すなら、彼らはキリストの力、良さ、恵みを覚えることが出来ます。しかし見い出さないなら、神様は侮辱され、疑われるのです。神様に栄光をささげることに焦点を当て、全てを選択し、行い、評価する基準としましょう。

こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。(1 コリ 10:31) 不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものであります。しかし、不品行を行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まわれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。(1 コリ 6:18-20) それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主であって栄光を受けるためです。(II テサ 1:12)

神様、あなたに栄光をささげる特権を感謝します。私がお前を侮辱している罪を示してください。私がキリストに似た者と変わっていくために、責任をもって祈り合い、教え合い、励まし合えるクリスチャンの友を与えてください。イエスの名によって、アーメン。

